



Profile

- 北海道大学農学部農業生物学科卒業
- 東京農工大学大学院農学研究科環境保護学専攻修士課程修了
- 北海道大学大学院獣医学研究科 研究生入学博士(獣医学)号取得
- 株式会社星野リゾート主任研究員
- 兵庫県立人と自然の博物館 研究員→主任研究員
- 兵庫県立大学 准教授→教授

専門は野生動物保護管理学、栄養生態学で、主にニホンジカやツキノワグマなど人との軋轢が問題となっている種を対象に、地域個体群の動態、個体群の健全性の保全を研究テーマとしています。

Q1. 研究の内容について教えてください。

兵庫県にはイノシシ、ニホンジカ、ツキノワグマ等約30種類くらいの野生の哺乳類が生息していますが、実は、野生動物と人との距離感というのは非常に大切で、時には様々な軋轢を起こしています。そのような軋轢を予防、解消するための研究をしています。

具体的な研究活動は、野外で鹿の糞を数えたり、動物に発信器を付けて行動を追跡したり、駆除された動物を解剖し、餌や繁殖等、動物たちが置かれている状況を調べて、将来の増減に関する指標をとっています。実は、兵庫県は野生動物の被害が早くから問題となったため、この分野の研究は、全国的に見て進んでいます。

Q2. 先生の研究は社会にどのような貢献をされていますか。

現在、野生動物による被害が頻発しています。そのような被害を分析し、短期的、長期的な対策をアドバイスしています。野生動物の被害が増えて、野生動物に対する悪い感情が生まれていますが、野生動物と人間の住み分け等ができ、共存できる環境が一步ずつ進んでほしいと思っています。こうした状況が少しでも進むと、私の研究、仕事はとてもやりがいがあり、いい仕事に関わっているなという自負は生まれてきます。

Q3. 研究と家庭との両立については、どのように考えていますか。

子育ては、大変なことも多いのですが、とても楽しいです。子供を連れて出張したり、横に子どもを座らせて学会に参加したこともあります。支援してくださる方にちょっと甘えながら研究と子育ての両立をがんばってきました。その中で増えた地域との絆やつながりは貴重なものとなっています。

Q4. 研究者を目指す学生の皆さんへのメッセージをお願いします。

どんなことにもトライ&エラーでどんどん積極的に挑戦してみて、もしそれで自分には難しいなと思ったら、また別のやり方で挑戦してください。自分が、楽しいな、これやりたいな、と思えるものをとにかくまず探して、自分の個性を活かせるものを見つけていってほしいなと思います。

Message

トライ&エラーで
積極的に挑戦！

